



環境理念

いわて生協は、地球の未来に責任をもつための行動を積極的にすすめ、生産・流通・消費・廃棄までの全過程にわたって、環境負荷低減と省エネルギー、省資源、リサイクルなどの環境保全型の社会づくりを目指します。

そうした中で、私たち一人ひとりが人間として、地球市民として、ライフスタイルを見直し、組合員と一緒に「持続可能な社会を実現する」ために率先して取り組むとともに、環境保全型社会システムづくりへの積極的な提言も行い、社会に貢献できるようにします。

環境方針

いわて生協は、食料品、家庭用品、衣料品、灯油等の商品を組合員に供給する事業と共済、葬祭、介護福祉等の事業を行っています。

こうした活動、商品、サービスによる環境影響の大きな項目については、目標を設定し、定期的に見直すとともに、環境負荷の軽減と汚染の予防、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。

環境関連の法律・規制・条例・その他受入れを決めた要求事項を遵守するとともに、自主基準を制定し管理を進めます。

いわて生協は、環境理念の実現をめざして次の活動を進めます。

- ①地球温暖化と化石燃料等の枯渇を予防するために、電気使用量削減に継続的に取り組みます。また自然エネルギー活用を検討します。
- ②業務用燃料の抑制のため省エネの取り組み、代替燃料や環境負荷の少ない車両の導入、エコドライブの実践を推進します。
- ③リサイクル商品、詰替商品など環境に配慮した商品の普及に努めます。
- ④地産地消を重視し環境負荷の少ない国産、県内産の生産物の普及を図り、産直商品の取り扱い比率の向上を進めます。

⑤廃棄物処分場不足等の予防のために、「ゼロエミッション（ごみ排出ゼロ）」を目指し、廃棄物の削減と再資源化を推進します。

⑥組合員によるリサイクル活動やマイバッグ持参（レジ袋削減）の取り組みを推進します。

⑦岩手の森林を保全・育成する取り組みを進めます。

定型教育、内部報、事業所ごとの会議等により、いわて生協常勤者及び常駐していわて生協のために働く人への教育・啓発を積極的に行い、環境方針の理解と周知、環境意識の向上を図ります。

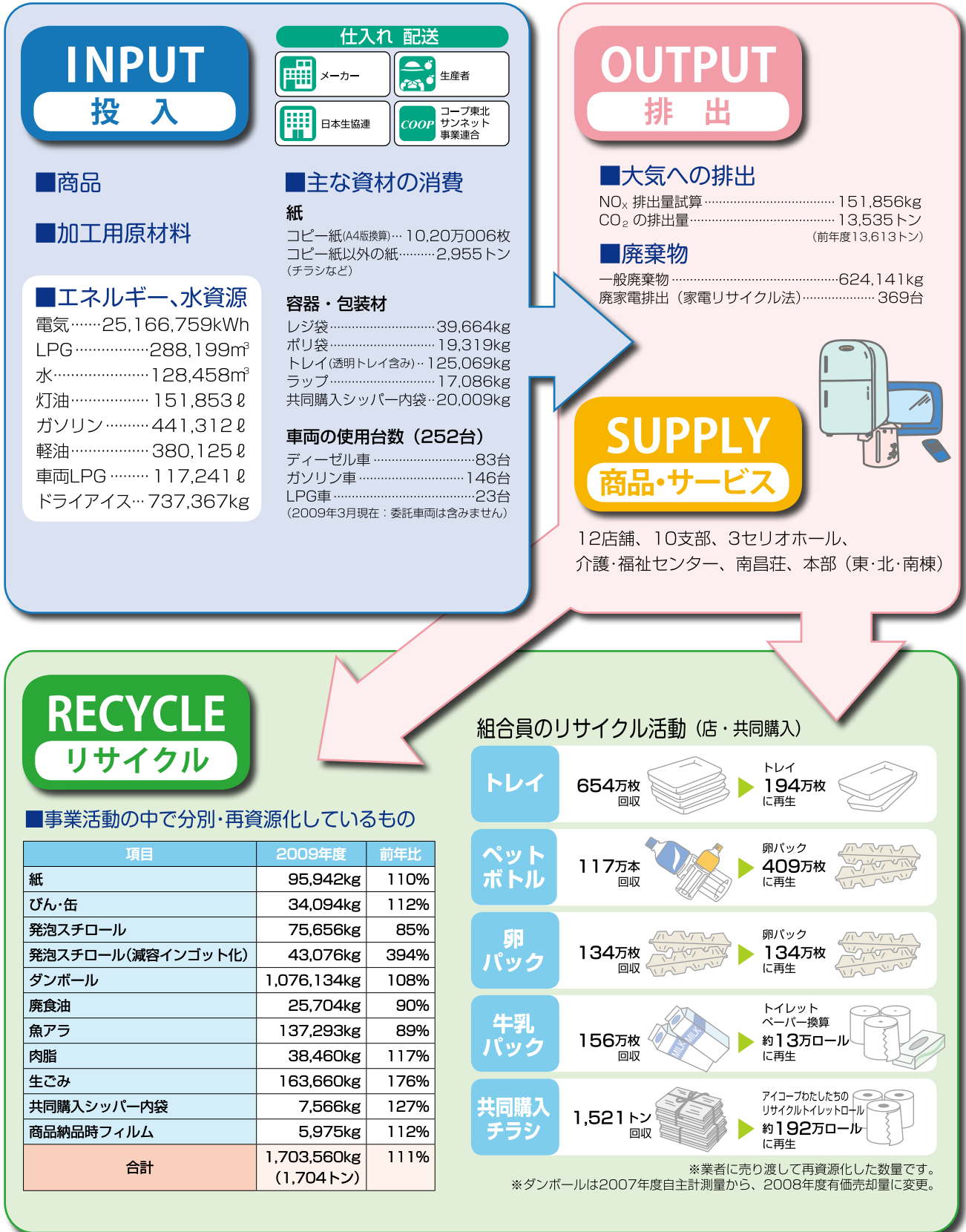
この環境方針を内外に公開するとともに、環境活動の取り組み状況について定期的に公表します。

制定日2000年7月20日

最新第12版への改定日2010年5月24日

いわて生活協同組合 理事長 飯塚 明彦

❖ いわて生協の事業活動が環境に与えている負荷の状況

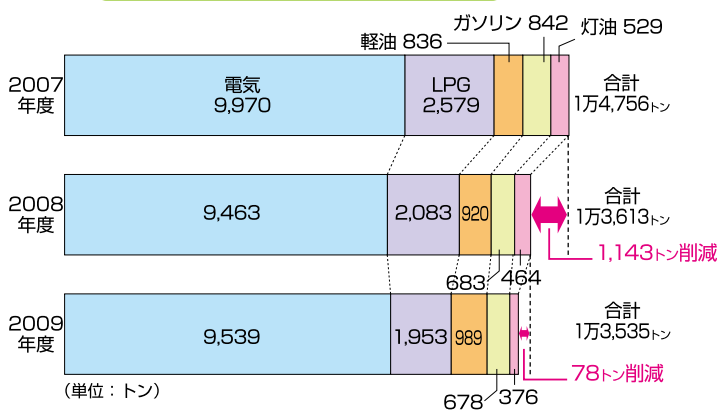
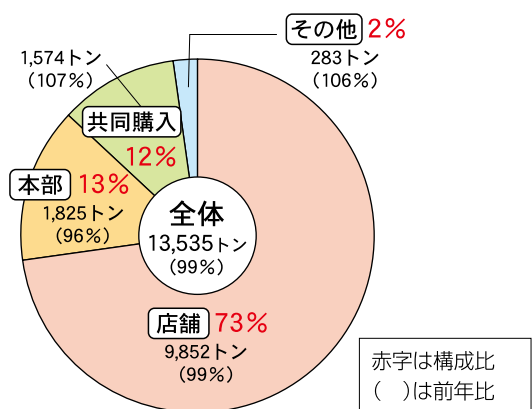


CO₂排出量は2年連続で減少

2009年度のいわて生協全体の二酸化炭素（CO₂）排出量は13,535トン（前年比99.4%）となり、2008年度に続き2年連続で前年を下回りました。

店舗事業では、新店ベルフ牧野林が7月にオープンしましたが、盛岡市内で2店を閉店、また宮古市内で1店

が建て替え休業に入り、店舗全体のCO₂排出量は前年比98.9%となりました。また、既存店舗での電気使用量の削減や、共同購入での燃費向上やBDF（バイオディーゼル燃料）の使用増加、本部での電気・ガソリンの節減努力がCO₂排出減少に貢献しました。

発生原因別CO₂排出量(単位:トン)事業別CO₂排出量CO₂排出削減のとりくみから

店舗

電気使用量は前年比97.5%に削減
CO₂ 194トンの削減効果

新店を除く各店舗は、08年度に2店舗で導入した「ミエタロー」のしくみを全店に広げ、電気の節減を進めました。「見える化」チェックリストに基づき、照明、空調・冷設の設定温度など30項目で毎日の点検を強めました。その結果、既存店舗の電気使用量は2008年度よりも2.5%削減できました。

BDF（バイオディーゼル燃料）使用の増加
CO₂ 7トンの削減効果

共同購入盛岡支部の配送トラック10台でBDFを使用。年間で2,574リットルの軽油をBDFに転換できました。これによるCO₂削減効果は6.8トンです。

空調用LPGの削減

CO₂ 44トンの削減効果

電気空調への切り替えを進め（セリオホール中野など）、空調用LPGの使用量を14,733m³削減（前年比4.7%相当）できました。これによるCO₂削減効果は44トンです。

共同購入

配送トラックの燃費が7%改善
CO₂ 52トンの削減効果

デジタルタコメーター導入やエコドライブの推進で、配送トラックの燃費が1リットル当たり6.39km（前年比0.43km増）となり、2年連続で向上。全車年間走行距離は182万kmで、燃費向上により12.7万km分の燃料（軽油換算19,937リットル）を抑制できたこととなります。

本部事業所でのガソリン節約

CO₂ 17トンの削減効果

本部商品部、店舗運営部など事業本部（本部北棟2F）では乗り合せや会議開催場所の工夫などで業務認定車両のガソリン節約を進め、前年に比べて、7,340リットル削減（7%相当）できました。これによるCO₂削減効果は17トンです。

地球温暖化防止自主行動計画 CO₂排出総量は計画達成 原単位では未達成

いわて生協は地球温暖化防止自主行動計画を毎年作成し、日本生協連に提出しています。

この計画は日本生協連に対する環境省のフォローアップ対象に含まれ、国の京都議定書の目標達成計画にリンクしています。

日本生協連の自主行動計画では、供給高1億円当たりのCO₂排出量（原単位目標）を計画的に削減し、効率的にエネルギーを使用する事業をめざすことにしています。いわて生協では、原単位目標とともに、CO₂排出量計画も設定しています。

2009年度の実績はCO₂排出量は13,535トンと計画量13,610トンを下回り達成できました。

一方、供給高1億円当たりのCO₂排出量（原単位目標）は、供給高が計画を下回ったため、計画量38.6トンを下回ることができませんでした。

2009年自主行動計画数値と結果

		02年度[基準年]	09年度計画	09年度実績
供給高	店舗	25,972	21,866	20,771
		100.0%	84.2%	80.0%
	共購・個配	11,122	13,368	13,382
		100.0%	120.2%	120.3%
	合計供給高[百万円]	37,094	35,234	34,153
		100.0%	95.0%	92.1%
CO ₂ 排出量(トン)	店舗	10,629	9,959	9,852
		100.0%	93.7%	92.7%
	共購・個配	979	1,481	1,574
		100.0%	151.3%	11.8%
	合計	13,301	13,610	13,535
		100.0%	102.3%	101.8%
原単位 CO ₂ 排出量(トン/百万円) (商品供給金額当たり)	店舗	40.9	45.5	47.4
		100.0%	111.2%	116.0%
	共購・個配	8.8	11.1	11.8
		100.0%	126.1%	133.7%
	合計	35.9	38.6	39.6
		100.0%	107.5%	110.4%

※比率は2002年度比です

2010年度温暖化対策自主行動計画 CO₂排出量を2009年度以下に削減（3年連続削減）することを目指します

2010年度のCO₂排出量は、ベルフ西町（宮古市）のオープンや釜石支部の移転新設などにより増加する見込みです。従来対策の継続では昨年比288トン程度（前年比102.1%）増加します。

そこで以下の新たな対策を中心に290トン以上のCO₂を削減し、13,530トン（2009年度比99.9%）以下にし、3年連続でCO₂排出量削減の実現を目指します。

- 1.店舗の冷ケースの照明削減を7店舗で実施します。
- 2.ハロゲンライトからセラメタライトへの交換を6店舗で実施します。
- 3.空調設備の省エネ型への更新を2店舗で実施します。
- 4.バイオディーゼル燃料の使用を大幅に増やします。
- 5.釜石支部に太陽光発電（20kWh）設備を導入します。

環境活動20年のあゆみから①

1990年 いわて生協発足

- 牛乳パック回収開始
- レジ袋節約スタンプ制開始
- 印刷用紙、コピー用紙、名刺等の再生紙への切り替え開始

1991年

- 使用済OCR用紙回収開始
- 食品トレイ回収開始

1992年

- アルミ缶回収（青山店）開始
- 朝配達牛乳のびん化テスト実施

1993年

- 朝配達牛乳リサイクルびん全面使用
- レシート用紙に再生紙使用
- 包装ラップの非塩ビラップへ切り替え実験

1994年

- 包装ラップを非塩ビフィルムに切替え
- 店舗の飲料自販機の台数削減
- ギフト簡易包装紙開発

1995年

- ペットボトル回収開始
- 共同購入にLPGトラック導入

1996年

- 共同購入で商品案内チラシ回収
- 未使用OCR用紙回収

1997年

- 回収トレイをトレイにリサイクル
- 盛岡市「ごみ減量・リサイクル店」認定

「コープの森づくり」がスタート！ 第1回植樹祭で500本植樹

いわて生協が第6次中期計画で掲げた「岩手の森林を保全する活動」がスタート。2010年5月30日、葛巻町で第1回植樹祭を、組合員、常勤者、地元森林組合のみなさん合わせて200人の参加で行いました。この「コープの森づくり活動」を皮切りに今後、植林や森に親しむ活動、間伐材の活用など、県内の森林を保全・育成し次世代に引き継ぐ活動を、計画的に推進していきます。



1ha2,000本植樹する計画の第1回分として500本を植樹しました。

トチノキやナラの木の
苗を植える組合員親子。



エコドライブが前進 安全運転との両輪で初の1リットル6km台へ

共同購入トラックの燃料向上をはかる課題では、デジタコ「みまもりくん」の活用やトレーナーによる運転指導などのとりくみで、全車平均1リットル6.39kmを実現、前年比で1リットル0.43km向上できました。



いわて生協のエコドライブを特集でとりあげた日本生協連の「CO-OP NAVI」(2010年6月)。

盛岡・滝沢地区店舗の生ごみをリサイクル 食品リサイクル率はさらに向上

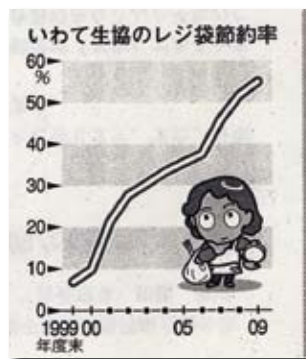
2009年7月から盛岡・滝沢地区店舗の生ごみ（食品残さ）を、小岩井農場内でガス発電の後、液肥としてリサイクルするプロジェクトがスタート。2010年5月までの10か月で100トンのリサイクルしました。コープアテルイ（奥州市）でも生ごみたい肥化プロジェクトを実施しています。いわて生協の食品リサイクル率は、たい肥化していた店舗の閉店で一時低下しましたが、盛岡・滝沢地区店舗のリサイクルで前年度56.4%から2009年度62.0%へと前進しました。

食品リサイクル率 **62.0%**

$$\text{食品リサイクル率 (\%)} = \frac{\text{リサイクルできている量 (317トン)}}{\text{リサイクル量 (317トン)} + \text{食品系廃棄物 (194トン)}} \times 100$$

レジ袋節約率がさらに向上 622万枚を節約

レジ袋節約（マイバッグ持参）運動は、2009年度節約率が54.9%に向上。過半数の組合員がレジ袋を使わない状態が定着できました。節約できたレジ袋枚数は622万枚。節約分のCO₂排出抑制効果は239トンに上ります。また、行政との意見交換の場を通じて、レジ袋の有料化の必要性を主張してきました。



BDF自主精製設備が稼働 年間2万リットルを共同購入トラックで使用

店舗の廃食油をBDF（バイオディーゼル燃料）に精製する施設を本部構内に開設しました。これにより年間2万リットルのBDFを精製し、共同購入の配送トラック10台で使用します。BDFはCO₂排出がゼロとみなされるため、軽油からこのBDFへ転換することで年間50トンのCO₂削減を見込んでいます。



2009年11月稼働スタートしたBDF精製施設、岩手県地域ゼロミッション（廃棄物ゼロ）補助事業です。

発泡スチロール減容・リサイクル 店舗分も処理へ

産業廃棄物として排出していた発泡スチロールを減容・リサイクルするプロジェクトを2008年11月にスタート。2009年度は従来のセットセンター、パッケージセンター分に加えて盛岡・滝沢地区店舗分も処理。年間43トンのリサイクルを実現しました。2010年5月からはコープアテルイ分の減容処理も開始。リサイクル量はさらに増加します。



運送会社の協力で、店舗の発泡スチロールが本部リサイクル施設へ運ばれます。（2010年5月奥州市コープアテルイで。）

5店舗でエコエコ探検隊 親子で学ぶお店の環境活動が好評

子どもたちを対象に夏休み・冬休みに「エコエコ探検隊」を5店舗で7回開催。110人の組合員親子がお店で排出物のリサイクル、環境にやさしい商品、組合員によるリサイクル活動を学びました。



生協のリサイクルの流れを店長から聞く子どもたち（ヘルフ牧野林）

組合員の声に応じて 透明トレイ・ふたの回収スタート 店舗のリサイクル品目拡大中

2009年6月から、透明トレイ・ふたも全店で回収・リサイクルへ。アルミ缶・スチール缶の回収やペットボトルキャップの回収ボックスの設置、盛岡市内店舗でのボタン電池の回収（2010年6月から）と、組合員の要望の実現がすすみました。

環境省「エコ8カップいわて」で優秀賞

エコドライブやバイオディーゼル自主精製事業など、いわて生協の地球温暖化対策を発表した「エコ8カップいわて」（2009年11月8日）で優秀賞を受賞。審査委員長から「いわて生協の活動は地域の企業の模範」とのコメントをいただきました。



エコ8カップ表彰式。発表10団体から最優秀賞1団体、優秀賞2団体を選ばれました。

容器包装185トン、紙類1500トンを回収 家庭の廃棄量削減、CO₂排出抑制に大きな役割

いわて生協の店舗、共同購入を通じて回収された容器包装は年間185トンになり、家庭からごみとして排出される量の削減に役割を發揮しています。また容器包装は石油由来のものが多く、ごみとして燃やされるとCO₂排出につながります。リサイクル活動がCO₂排出抑制に果す役割も大きくなっています。

共同購入では毎週発行するチラシを回収し「アイコープわたしたちのリサイクルトイレットロール」原料としてリサイクルしています。2009年度の回収量は、1,521トンにのぼりました。

福祉作業所のみなさんがリサイクルを支えています

リサイクル流れの中で、「分ける」「まとめる」の作業は、福祉作業所のみなさんに長年にわたり協力いただいています。最近は発泡スチロール減容作業やBDF精製設備の運用も委託しており、福祉作業所との連携はますます強くなってきています。



2009年度は43トンの発泡スチロールを減容処理しました。



店舗からのペットボトルを分別・圧縮するみたけ学園のみなさん。

リサイクル回収によるCO₂抑制効果

項目	2008年度回収量	CO ₂ 削減効果係数 (kg当たり)	CO ₂ 換算
牛乳パック	48,850kg	170g	8,305kg
トレイ	28,306kg	3,200g	90,579kg
ペットボトル	70,839kg	733g	51,925kg
卵パック	22,913kg	733g	16,795kg
シッパー内袋	5,971kg	2,968g	17,722kg
合計	176,879kg		185,326kg (185.3トン)

いわて生協の環境活動に期待しています

環境負荷低減と省エネルギー、省資源、リサイクルなど、環境保全に対する素晴らしい様々な取り組みを行っていることに敬意を表します。



みたけ学園
みたけの園園長
十文字 啓一

いわて生活協同組合さんから、1999年にペットボトルや卵パックの選別・減溶・梱包を、2008年に発泡スチロールの減溶処理を受託いたしました。利用者及び職員一同は、こうした環境活動の一端を担っていることに、誇りを持ち、日々作業に取り組んでおります。

いわて生活協同組合の環境活動が、継続され益々発展されますことを心からご期待申し上げます。

- 共同購入トラック5台でバイオディーゼル使用
- 2007年
● 廃プラスチックのリサイクル拡大 (PPバンドなど)
● レジ袋節約率45%に到達。50%を目標に決める。
- 2008年
● 本部で発泡スチロール減容リサイクル開始
● 共同購入トラックで燃費改善を実現
● レジ袋節約率51%となり過半数の節約率を実現

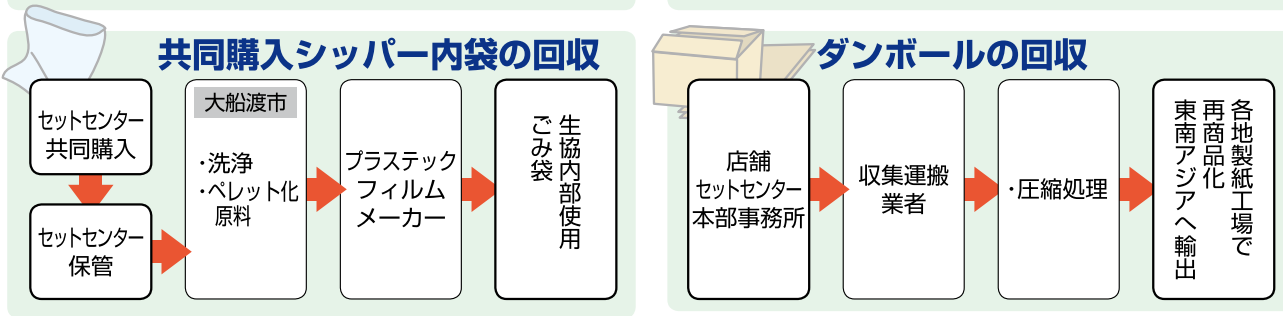
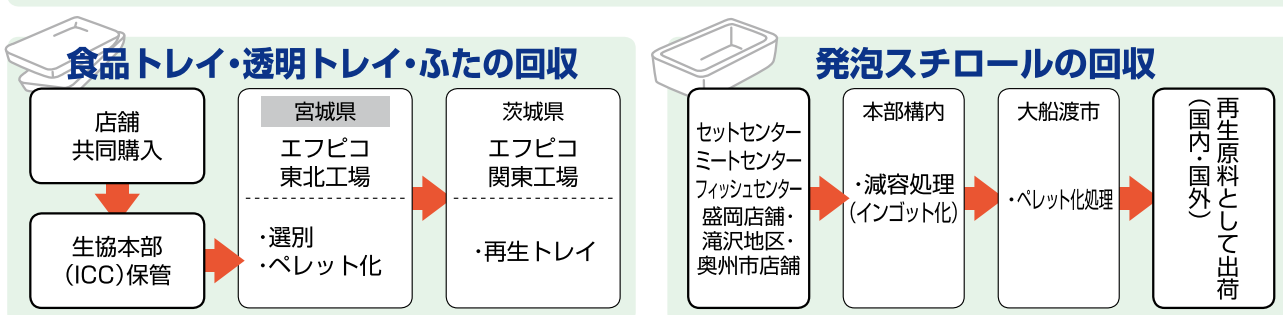
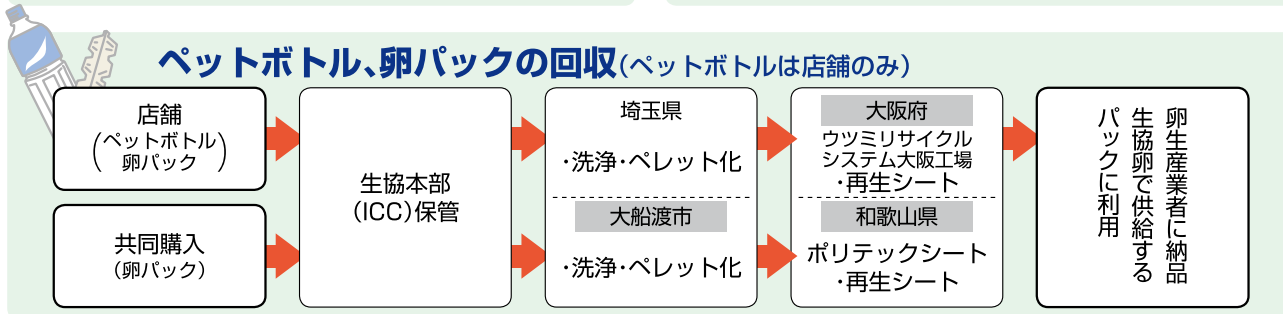
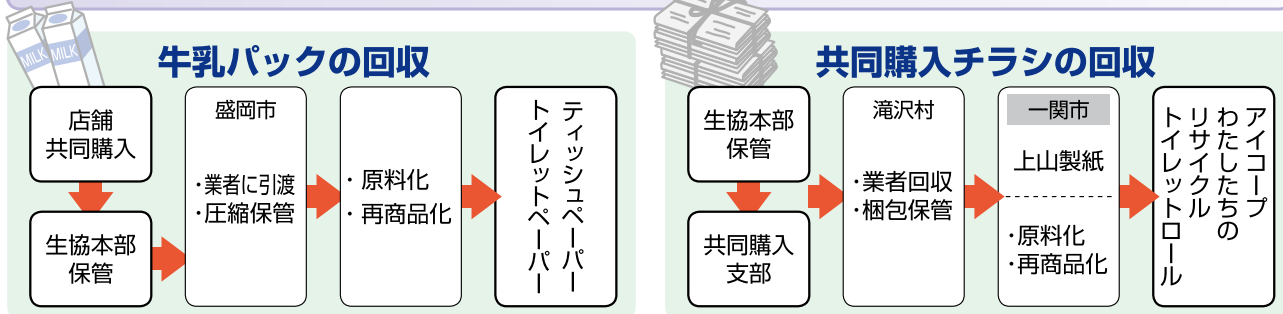
- 2006年
● セリオホール
みたけに太陽光
発電導入



- 2005年
● 岩手県「エコショップ」第1次認定を受ける
● 「森林(もり)を守る募金」開始(以後4年で150万円贈呈)



❖ いわて生協のリサイクルの流れ



環境活動20年のあゆみから②

- 1998年 ペットボトル、卵パックを回収して卵パックに
- 回収した共同購入チラシを原料にトイレットペーパー開発
- 1999年 アイコープ低温殺菌牛乳(200ml)の容器をリサイクルびんに
- 本部でペットボトル、卵パックの圧縮減容作業開始
- 2000年 県内小売業で初のISO14001認証取得
- 2001年 「いわて大環境祭」(アピオ)に参加
- 印刷物に大豆インクを採用
- 2002年 レジ袋節約スタンプからカードポイントサービスに変更
- 共同購入の内袋を内部使用ゴミ袋に再生
- 2003年 レジ袋節約率が30%を達成
- コープアテイルの生ごみを堆肥化
- 2004年 印刷物・帳票類の再生紙への切替終了
- 「ポラン農業小学校」の活動が雑誌「地上」等で全国に紹介

❖ 商品部では環境負荷が少ない「岩手県内産」を重点普及

「顔とくらしが見える産直品の普及」

6億2,645万円で計画達成

店舗ごとの「産直コーナー」や回数が増えた「生産者直売会」、毎回好評の「産直収穫祭」等を通じて普及し、常勤者の産地視察やDVD活用も進みました。



共同購入担当者の産地学習会。配達時の産直野菜おすすめに活かします。(岩手町今松野菜生産組合にて)

「県内産食材を利用した惣菜の供給を進める」

1億2,178万円で大幅に計画を達成

惣菜部では毎月重点商品とレシピ開発を進め、2009年度は初めて利用が1億円を超えました。「産直キャベツを使用したジャンボぎょうざ」「県内産鶏唐揚げ」「アイコープさくら卵のお好み焼き」「産直米おにぎり」「産直野菜のきんぴらごぼう」「産直ほうれん草の白和え」など好評の商品が多数生まれました。



県産食材普及で「産直野菜を使ったきんぴらごぼう」を開発しおすすめ活動も強めました。

「県内製造商品の供給を進める」

8,674万円で計画を達成

グロサリー部は「県内メーカーと共同開発したアイコープ商品」(5ページ参照)と「県内メーカーで製造した商品」の普及を進めました。年間供給実績は8,674万円で、前年比107%になりました。

「三陸産のアイコープ商品の普及」

6,902万円で計画達成

三陸の漁協、メーカーと開発したアイコープ商品を、毎月目標を持って普及しました。

わかめ、めかぶ、いくら、しめさば、いか一夜干し、いか塩辛、かきなど、豊富な三陸産水産物は前年比109%と利用を伸ばすことができました。



水産部常勤者によるアイコープ真崎わかめの産地学習会。加工場で原料を実際にみて確認します。(宮古市田老で)

「産直米を680トン供給する」

08米穀年度は681トン供給し計画達成

いわて生協の産直米の生産者と組合員の交流は、田植え交流会、田んぼの生き物観察会、稲刈り交流など活発に進め、生産量すべて供給できました。



一関コープ組合員の産直交流企画で田んぼの生き物観察会。(奥州市江刺区で)

❖ 本部各事業所、店舗、支部、セリオ等でも環境にやさしい仕事を追及

電気使用量の削減

- 全事業所で、新施設・閉店を含めて前年以下にする目標に取り組みました。
- 店舗（23ページ参照）、本部東棟、北棟では目標達成しましたが、いわて生協全体ではわずかに前年を上回ってしまいました。
- ノー残業デー設定（経理部など）、北棟での飲料自販機削減や21時以降の残業禁止（本部北棟）など、多様で自主的な行動が強まりました。

廃棄物削減の目標

- 店舗生ごみの削減は、盛岡・滝沢地区で大きく前進しました（25ページ参照）。
- 惣菜部では、惣菜商品の廃棄削減に取り組み、廃棄ロス率2.8%以下の目標を達成できました（実績2.57%）。



生ごみ（食品残さ）リサイクルへ搬出作業（ベルフ青山）

紙の使用削減・抑制及び有効活用

- 事業本部（北棟2階）では、供給高1億円当たりのコピー紙使用削減（前年比97%で達成）、経理部ではコピー枚数削減（前年比74%・15,500枚減で達成）の成果をあげました。
- 共済センターでは、共済チラシの効率的な使用で8ページチラシ成約率が0.52%（前年比0.04%増で達成）に向上。また年齢満期の方の継続加入率向上に取り組み、19歳満期で43%、60歳満期で68%の継続率を実現しました（達成）。
- 経理部では帳票リサイクルを試行し、2009年度は1.1トンの裁断引渡しを実施。今後に向け、金具を使わない帳票保存を始めました。
- 共働社では、保険契約のペーパーレス化を目標を持って推進しました（電子化率54%で達成）。

資源節約

- レジ袋の削減（25ページ参照）
- 共同購入車両燃費の向上（25ページ参照）
- バイオディーゼルの活用（23ページ参照）

❖ 環境配慮商品の普及

● 共同購入支部

回収チラシが原料の一部になっている「アイコープわたしたちのリサイクルトイレットロール」の利用率向上に取り組み、年間9,679点（前年比131%・達成）の利用を実現しました。

また「アイコープだしたっぷりつゆ」の利用率を引き上げる目標では、1リットル換算21,007本（前年比117%）で達成しました。



● 家電センター

家庭の省エネに貢献する「断熱ガラス」の普及に取り組み、131件（目標147件）の受注・施工がありました。

● 保険センター

自動車損害保険に、修理時リサイクル部品を使用する特約を推進し、3月度は契約中81%で成約。年度平均でも特約付帯率が49%になりました（達成）。

● セリオホール中野・みたけ・緑が丘

火葬の環境負荷を削減する「エコ棺」（強化ダンボール製）を普及。合板や化学系接着剤を使わず、森林再生にも配慮した棺です。109件の葬儀（全体の22%）で利用がありましたが、目標25%にわずかに及びませんでした。



● 盛岡灯油センター

組合員家庭のホームタスクのメンテナンスとして「洗浄サービス」事業を実施。2009年度は299件の利用があり、目標128件に対して大幅に達成しました。

❖ 新施設設での環境配慮

1) ベルフ牧野林 (2009年7月オープン)

- ①再生アスファルトの使用 (舗装の路盤材)
- ②スリム蛍光管の採用
- ③冷媒404A (オゾン破壊係数0) へ転換
- ④エコストアシステムで運転状態を一元管理
- ⑤LED照明 (組合員用トイレのダウンライト) の導入
- ⑥組合員用トイレに人感センサー設置
- ⑦LED照明・人感センサー (アイスリーチインケース) 導入
- ⑧オーバーキャノピーのみ照明 (飲料・酒ケース)
- ⑨売場の照明点灯区分細分化 (従来2~3区画から5区画へ)
- ⑩管理ファンシステム採用
- ⑪「塔屋」と照明を廃止 (ベルフ山岸から実施)
- ⑫節水型蛇口の取付
- ⑬事務所プラススイッチ

2) セリオホール緑が丘 (2009年11月オープン)

- ①トイレへの人感照明・LEDランプの導入
- ②駐車場舗装への再生アスファルトの使用・節水コマの導

入

- ③事務所蛍光灯はスリムランプ導入
- ④節水型トイレの導入・床シートを低炭素型のグリーン購入法適応品採用

3) けせん支部 (2009年8月新設・移転)

- ①省ライン照明器具の取付
- ②冷蔵庫内到人感センサー照明取付、節水蛇口の取付、トイレ人感センサー照明
- ③廊下到人感・照度センサー照明取付、リサイクル材使用の車止め、冷凍・冷蔵庫二温度帯設定



ベルフ牧野林に導入した人感センサー照明付き冷凍ケース。



ベルフ山岸から塔屋照明をやめています。

❖ 啓発・環境意識の向上

- ノーカーデーのとりくみ (セットセンター)
- ノー残業デー (本部各部署)
- 電気ダイエットの全員参加 (介護福祉センター他)
- 月例環境学習 (介護福祉センター、南棟、セットセンター)
- 施設周辺の清掃、草取り (本部各部署)
- 環境をテーマにしたコープのつどい (組織本部)
- エコエコ探検隊の年7回開催 (組織本部)
- 秋の電気ダイエットの呼びかけ (組織本部)



パッケージセンターで常勤者が毎月行っているエコ学習テキスト

❖ 2009年度生協環境活動の金額的評価

「環境負荷=コスト」の視点でとらえると、環境活動 (環境負荷を減らす) はコスト削減につながります。また有償リサイクルの推進で収入を得ることができま。いわて生協は環境活動によるコスト低減と排出物の「ごみゼロ」をめざして取り組みを進めています。

項目	効果の金額(万円)	コスト削減・収入の内容
レジ袋節約(マイバッグ持参)運動	106	レジ袋削減622万枚分1182万円-節約ポイント付与分1076万円
既存店舗の電気使用量削減(前年比較)	694	既存店舗は前年比97.5%。料金単価値下げ分を控除後
太陽光発電量	16	セリオホールみたけの太陽光発電分11,643kWh
燃費改善による軽油節減効果	179	共同購入トラックの燃費改善で12万7千km分の燃料節減効果(19,900リットル)。
ガソリン節約(前年比較)	203	いわて生協全体で16,910リットル削減(前年比96.3%)
灯油使用量の削減(前年比較)	577	前年比3万4千リットル削減分
店舗生ごみ(食品残さ)リサイクル	46	盛岡・滝沢地区店舗のリサイクル化で処理単価が低下
発泡スチロールの減容リサイクル	270	発泡スチロール43トンの産廃処理費削減172万円、減容したインゴット売却98万円
トレイ・透明トレイリサイクル	57	回収トレイ売却
肉脂・廃食油リサイクル	30	肉脂6万円、廃食油24万円
チラシ・本部紙回収リサイクル	1,178	共同購入の商品案内チラシ、本部の古紙売却
金属・鉄リサイクル	20	セットセンター廃カゴ車、鉄他金属売却
卵パック・ペットボトルリサイクル	132	卵パック売却31万円、ペットボトル101万円
タンボール・缶リサイクル	813	店舗、セットセンターダンボール売却、アルミ・スチール缶売却
廃プラスチック各種	3	PPバンド、シッパー内袋、廃コンテナ、ペットボトル(不良)他
牛乳パックリサイクル(環境活動基金)組み入れ	38	環境活動基金累計額598万円
合計	4,362	

❖ 全事業所対象に内部環境監査実施

- 1) 実施対象 全ての店舗・支部・センター・部署（49サイト）とシステム全体（環境マネジメント責任者及び事務局）
- 2) 実施期間 事業所監査／2009年1月18日(月)から2月20日(土)の5週間
システム全体監査／2010年2月4日(水)
- 3) 実施監査員 31名

4) 監査員の指摘事項（監査所見）

①	所見の件数	75件（前年58件）
	（内訳） 不適合A	1件（前年 1件）
	不適合B	23件（前年21件）
	改善の余地	51件（前年36件）

- ② 各事業所の優れた取り組みや、監査員の助言等を記述する「所見書メモ」が54件集約されました。

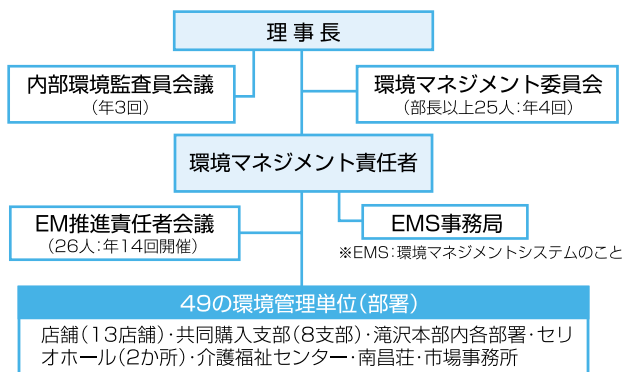
❖ ISO14001:2004外部審査機関の更新審査は「合格」 今後は独自の環境マネジメントシステムをめざします

ISO14001規格の外部機関（日本環境認証機構）更新審査を、2009年10月7日から9日までの3日間受けました。審査結果は「前回の更新審査以降、この3年間EMSは引き続き改善されている」として「合格」でした。これを受けて、この10年間のISO14001規格による環境マネジメント活動で大きな成果があったことを確認し、今後は地球温暖化対策などに重点的に取り組んでいくためシステムを簡素化し、いわて生協独自の環境マネジメントシステムをつくり上げることにしました。



外部審査機関による更新審査での店長インタビュー。（2009年10月）

❖ 2009年度いわて生協環境マネジメント体制



■ 環境に関する苦情等（4件）

商品納品時と朝配達牛乳配達時の騒音が各1件、共同購入車両と商品納品車両のアイドリングストップ不徹底への指摘が各1件、計4件の苦情をいただきました。いずれも会議等での周知を行い、改善を図りました。

■ 環境関連の法規制と順法状況

環境関連の法規制について、「環境法規制等登録表」に34本の法律と条令等を登録し、順守状況を監視しています。産業廃棄物、アスベスト回収処理、フロン回収破壊処理、建設廃材リサイクル、家電リサイクル、PCB保管等すべて適正処理の証拠（マニフェスト）を確保しています。更新審査の際、過去の理事長名の変更届け未提出1件を指摘され、ただちに是正を行いました。

■ 事故緊急事態の発生（0件）

2009年度、事故緊急事態に想定している灯油漏洩はありませんでした。

いわて生協のプロフィール (2010年3月20日現在)

本部／岩手県岩手郡滝沢村滝沢字土沢220-3
 電話 019-687-1321 (代表)
 FAX 019-687-1491
<http://www.iwate.coop/>
 創立／1990年3月21日

出資金／66億4,264万円
 供給高／347億9,880万円 (2008年度実績)
 組合員数／193,908人 (県内世帯数比38%)
 班数／10,942班 (個配含まず)
 班員数／37,868人
 常勤者数／1,883人 (アルバイト含む)

2009年度の事業の決算概況

2009年度損益計算書

(2009年3月21日～2010年3月20日) (単位:百万円)

科目	実績
供給高	34,798
供給剰余金	8,576
その他の事業収入	753
事業総剰余金	9,338
管理費	9,242
人件費	4,307
物件費	4,935
事業剰余金	97
事業外収益	355
事業外費用	21
経常剰余金	431
特別利益	2
特別損失	1,070
当期剰余金	△608

事業部門別供給実績

(2009年3月21日～2010年3月20日) (単位:百万円)

事業部門	実績
店舗事業	20,770
共同購入事業 (灯油含む)	13,382
葬祭事業	646
総供給高	34,798

2009年度貸借対照表

(2010年3月20日現在) (単位:百万円)

資産の部		負債・資本の部	
流動資産	5,686	流動負債	6,750
固定資産	12,311	固定負債	2,315
有形固定資産	8,601	出資金	6,643
無形固定資産	323	剰余金	2,289
その他固定資産	3,386		
資産合計	17,997	負債・資本合計	17,997

職員数及びその増減その他の職員の状況

区分		前期末数 (人)	当期末数 (人)	平均年齢、平均勤続年数
正 規 職 員		333	328	40.1 歳
				17.1 年
パート・ アルバイト等 職員	総 数	1,573	1,555	/
	正 規 換 算 数	980	983	

(注) パート・アルバイト等職員の正規換算は、1日8時間を基準としています。



事業所一覽

本部 滝沢村滝沢字土沢220-3

本部／総務チーム・役員室・開発施設部 TEL019-687-1321
 FAX019-687-1491
 組合員活動支援部 TEL019-603-8299
 経理チーム TEL019-687-1341
 事業本部／商品部・店舗事業部・品質管理室 TEL019-687-1441
 共済センター ☎ 0120-168160
 コープ保険センター ☎ 0120-239739

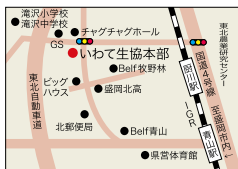
共同購入

盛岡 滝沢村滝沢字土沢220-3 ☎ 0120-042306
 東・西・南支部
 宮古支部 宮古市田鎖第8地割字十文字12-1 ☎ 0120-693312
 花北支部 花巻市石鳥谷町小森林第5地割220-1 ☎ 0120-405531
 県南支部 奥州市前沢区字五合田63-8 ☎ 0120-803620
 釜石支部 釜石市甲子町第8地割119 ☎ 0120-272201
 けせん支部 大船渡市盛町字馬場23-5 ☎ 0120-263957
 にのへ支部 一戸町一戸字越田橋25-1 ☎ 0120-255582
 久慈支部 久慈市新井田3-98-1 ☎ 0120-341588
 盛岡灯油センター ☎ 0120-112021
 住まいと暮らしのサービスセンター ☎ 0120-879300

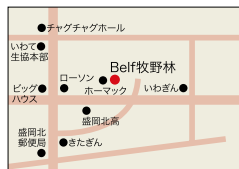
その他

コープくらしの助け合いの会 滝沢村滝沢字土沢220-3
 盛岡地区 TEL019-699-1777 盛岡以外 ☎ 0120-537940
 コープトラベルいわて 盛岡市仙北3丁目8-40
 (Belf仙北2階) TEL019-631-2671
 中野組合員センター 盛岡市中野2丁目10-10
 緑が丘組合員センター 盛岡市緑が丘3丁目1-10
 (葉王堂2階)
 天昌寺組合員センター 盛岡市天昌寺町1-60
 (介護・福祉センター“あい”2階)

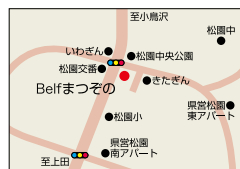
いわて生協本部
 滝沢
 滝沢村滝沢字土沢220-3
 ●上欄に記載の部署のほか、共同購入セットセンターや生鮮加工センターもごらさず。



Belf 牧野林
 滝沢 あさ9時～よる11時
 ☎ 550台
 滝沢村滝沢字牧野林291-1
 TEL.019-699-3566
 FAX.019-687-3412



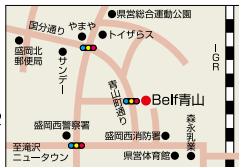
Belf まつその
 盛岡 あさ9時～よる11時
 ☎ 110台
 盛岡市松園3丁目18-20
 TEL.019-662-5152
 FAX.019-662-8018



コープ高松
 盛岡 あさ7時～よる12時
 ☎ 30台
 盛岡市上田4丁目21-5
 TEL.019-624-2218
 FAX.019-624-2226



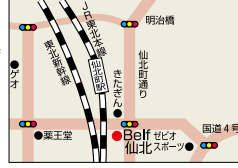
Belf 青山
 盛岡 あさ9時～よる11時
 ☎ 180台 灯油取扱
 盛岡市青山4丁目17-2
 TEL.019-647-8181
 FAX.019-647-8184



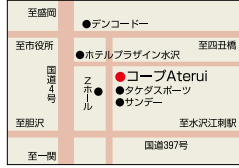
Belf 山岸
 盛岡 あさ9時～よる11時
 ☎ 150台 灯油取扱
 盛岡市山岸2丁目16-8
 TEL.019-654-2184
 FAX.019-654-4092



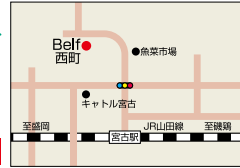
Belf 仙北
 盛岡 あさ9時～よる11時
 ☎ 180台 灯油取扱
 盛岡市仙北3丁目8-40
 TEL.019-635-0135
 FAX.019-635-0158



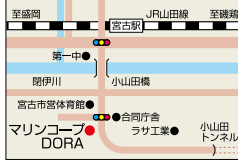
コープAterui
 水沢 あさ10時～よる10時
 (日曜・祭日はあさ9時開店)
 ☎ 1400台
 奥州市水沢区佐倉河字沖ノ目123
 TEL.0197-51-0088
 FAX.0197-51-0070



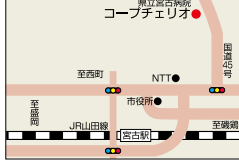
Belf 西町
 宮古 現在建設中
 宮古市田の神2丁目2-30
2010年7月オープン!




マリコープDORA
 宮古 あさ10時～よる9時
 (日曜・祭日はあさ9時開店)
 ☎ 600台
 宮古市小山田2丁目2-1
 TEL.0193-63-3131
 FAX.0193-63-3366




コープチェリオ
 宮古 あさ8時～よる7時30分
 ☎ 140台
 宮古市崎鏡ヶ崎1-11-26
 TEL.0193-64-4121
 FAX.0193-64-6022



コープ西ヶ丘
 宮古 あさ10時～よる10時
 ☎ 40台
 宮古市西ヶ丘1丁目6-1
 TEL.0193-64-1158
 FAX.0193-64-1199



コープ関COLZA
 一関 あさ9時～よる11時
 ☎ 380台
 一関市石畑3-1
 TEL.0191-26-3331
 FAX.0191-26-3380



盛岡市保健寮園 盛岡市保存建造物 南昌荘
 盛岡 10時～17時・月火休
 (12月～3月は16時閉館)
 ☎ 10台
 盛岡市清水町13-46
 TEL&FAX 019-604-6633



コープ介護・福祉センター“あい”
 盛岡 あさ9時～よる18時
 ☎ 145台
 盛岡市北天昌寺町1-60
 ☎ 0120-179131
 TEL.019-643-9131
 FAX.019-643-9138



セリオホール中野
 盛岡 年中無休
 ☎ 60台
 盛岡市中野2丁目3-25
 ☎ 0120-059212
 FAX.019-654-1900



セリオホールみたけ
 盛岡 年中無休
 ☎ 30台
 盛岡市みたけ3丁目7-35
 ☎ 0120-529711
 FAX.019-647-8990



セリオホール緑が丘
 盛岡 年中無休
 ☎ 36台
 盛岡市緑が丘3丁目10-35
 ☎ 0120-809241
 FAX.019-664-9242

